

会 議 録

会議の名称	第3回 子どもが輝く学校の未来構想検討委員会
開催日時	令和7年1月27日（月）
	13時00分 開会 14時40分 閉会
開催場所	斑鳩町役場 3階 第1会議室
議長等の氏名	委員長 安井 義和
	副委員長 森下 暁
出席者（委員） の氏名	田中 和則、吉川 健、井上 卓也、富井 孝則、清水 俊匡、 小村 尚己、橋口 里子、坂本 恵美、浦林 潔、久保 茂樹、 岡方 良一、下村 知子、遠山 健
欠席者（委員） の氏名	なし
事務局職員職 氏名	山本 雅章（教育委員会 教育長） 本庄 徳光（教育委員会 教育次長） 仲村 佳真（教育委員会 事務局総務課 課長） 藤村 保夫（教育委員会 事務局総務課 学校教育指導主事） 柳井 孝一郎（教育委員会 事務局総務課 課長補佐） 下平 愛 （教育委員会 事務局総務課 主事）
議題	・ 審議事項 （1） 未来の斑鳩町立小・中学校のあり方に関するアンケート調査 の結果について【資料7】 （2） 一般会計の財政見通しについて【資料8】 （3） 今後のスケジュールについて
会議結果	・ 審議事項 （1）、（2）について、事務局から説明 （1）の内容の一部修正について、正副委員長及び事務局に一任
会議資料	・ 次第 ・ 資料7 未来の斑鳩町立小・中学校のあり方に関するアンケート 調査の結果について ・ 資料8 一般会計の財政見通しについて
議事の経過	

発言者	発言の要旨
事務局	(検討委員会の成立について) 総委員数15名のうち、15名の委員が出席のため、斑鳩町子どもが輝く学校の未来構想検討委員会設置条例第6条第2項により当検討委員会が成立する。 (資料確認(次第、資料7、資料8))
安井委員長	(署名委員として、清水委員、小村委員を指名) 1. 審議事項 (1) 未来の斑鳩町立小・中学校のあり方に関するアンケート調査の結果について、事務局より、説明をお願いします。
事務局	(資料7-1【当日配布】に基づき説明)
安井委員長	ありがとうございました。 それでは、委員の皆さまのご意見をお伺いしたいと思います。 まず、最初に、校長先生の方々より、アンケートに関する感想など、ご意見を頂きたいと思います。
A 委員	アンケートの中で、学校施設の老朽化がすすんでいる中、今後、どのような考え方で整備をすすめていく必要があるかの設問で、「多額の経費が必要であっても、全ての学校を建て替える」という回答より、「老朽化の度合いに応じて、順次改修を行いながら、将来的に建て替える」という回答が多く、私の思いとは少し違っていたため、驚きました。
B 委員	事前にアンケート結果を頂いたもので、目を通させて頂きましたが、非常に的を射た意見であったと思います。保護者の回答率が約32%であったことについては、現状に満足し、安心している、という結果として捉えています。 斑鳩南中学校は、築42年が経過している状態であり、コンクリー

安井委員長	トの寿命が 50 年と聞いていますので、コスト面を含め、どの時期に改修や建て替えをすることが良いのかなど、非常に判断が難しいと考えます。その他、特にトイレ施設の環境が課題であるという印象も受けております。 このアンケートに関しましては、内容が難しく、考えている間に締め切られたとの声も聞いております。PTA 会長の方々においては、このアンケートの背景について、保護者などからご質問を受けた方もいるかもしれませんが、その辺りも含めてご意見やコメントなりを頂ければと思います。
C 委員	保護者の方から学校の老朽化について聞かれることはありますが、明確な要望までは聞いていません。校舎の老朽化に関して気にされている人が多いという印象です。 現状のままでよいという理由が、本アンケートでは問われていないため、分かり兼ねるところです。 学級数に関しては、1 学級に先生 2 人が効果的ということが文部科学省でも推奨されており、斑鳩町もそれを認識した上で取り組んでいると思いますが、アンケートでは、その現状を知る人と知らない人がいる上で、学級数や人数の回答結果を判断すべきと考えます。
D 委員	アンケートについては、斑鳩中学校は北館が古い感じであり、綺麗にして欲しいという意見が多いと感じます。コンクリートの耐久性や建物の安全性を専門家に見ていただく必要があると思います。 「きめ細かな指導が行われる」という回答について、教職員の方が何%ぐらいであったかが気になっています。 斑鳩町の小・中学校の机の天板は旧 JIS 規格と思いますが、今の JIS 規格であれば、旧規格より縦横約 5 cm 程度大きくなっており、タブレットを置くなど想定されたものとなっています。10 年ほど前に一度検討されていたかと思いますが、当時は製造数やコストなどの問題があったと思います。そういった時代の流れとも照らし合わせて考えていくべきだと思います。

E 委員	アンケートに関する質問は、特に聞いていませんが、トイレの問題は良く聞かれます。学校では汚いためか、家のトイレが良いのか、わかりませんが、学校のトイレは行きたくないため、我慢して家まで帰るという声を聞いていますので、考えていく必要があると思います。
安井委員長	トイレの現状把握について、事務局の見解を教えてください。
事務局	トイレに関しましては、アンケートの結果を受け、汚い、使いにくい、という意見をたくさん頂いております。また斑鳩小学校、斑鳩南中学校においては、使用停止になっていたところがあり、まずは使用できる状態に改善しております。また床が汚い、壁が汚いなど、自分が通っていた当時から変わっていないという意見もありました。 現在は、トイレの洋式化を8割程度に進め、LED 照明に変えるなど設備の更新をしているところです。今回のアンケートにてトイレに行きにくいという意見があり、困っている状況であるということから、何らかの改善をすすめていきたいと考えております。
F 委員	子どもたちの教育環境について整えてほしいと考えます。安全性については、耐震工事などされており、トイレの洋式化や LED 照明など設備を更新していますが、子どもたちが環境よく授業を受けられるよう、老朽化している箇所を少しずつ補修していくべきと考えます。壁の色を変えるだけでも、雰囲気が変わると思います。クーラーの設定温度を上げることや、コロナ禍には、窓を開けエアコンと扇風機を使用するなど、子どもたちに良い環境で教育を受けてもらえるよう、ハード面だけでなくソフト面について少し変えるだけでも良い効果があると思います。
G 委員	斑鳩小学校の給食室について、何回も修理していただいておりますが、何回も雨漏りが発生しています。何らかの対策をしてあげて欲しいと思います。

安井委員長	これまでのご意見を受けて事務局に意見を頂きたいと思います。 適正規模・適正配置に絡んでアンケートをさせて頂き、多くの保護者や町民、教職員の方から意見を頂き、本当に有意義なアンケートであったと思います。
事務局	保護者の皆さまから、1,020 人分のアンケート結果を頂きました。その中で答えにくい部分や分かりにくい部分もあったかと思いますが、現状や今後についての要望を生の声として聞かせて頂きました。 本委員会は、未来の学校の適正規模・適正配置について、検討をすすめることになっており、その中で、アンケートを実施し、今の保護者や児童・生徒の方々の要望や悩み事があるということを改めて強く気づかせていただきました。 学校施設は、全体的に老朽化が進んでいる状態になりますが、ご意見にあります給食室につきましては、雨漏りなどが発生した場合、学校から連絡をいただき、できるだけ速やかに改修をしてきましたが、引き続き、修理等が必要な箇所があった場合は、できるだけ速やかに対応していきます。
安井委員長	ありがとうございます。幼稚園や保育園の方々からも、これから小・中学校に上がることを踏まえてご意見頂ければと思います。
H 委員	思ったより建替えをするという意見が多いのは意外でした。普通に生活しており、見慣れた風景のため、壊れたら怖い、地震の際はどうかという会話は聞かないので、何かあると感じている人は少ないと思います。 また、幼稚園でアンケートの話をした感じは、老朽化について重要視していないように思いました。 学校ではありませんが、幼稚園の園舎のトイレの屋根が壊れそうであり、外に設置されている保護者等が使用するトイレの修理も必要ではと思います。また、2 階の柵の幅が広いため、園児たちには危ないと感じています。 保護者からの要望はあまり聞いていませんが、小学校が綺麗でないという話は、普段からよく耳にします。またトイレも行きたくない

	いという声や上履きはとても汚れるという声を聞いています。
I 委員	アンケートの内容ではありませんが、私は子どもが3人いて、3人とも同じアンケート用紙を持って帰ってきましたが、回答したのは1通のため、そういったケースがあり回収率も減るのではと思いました。学校ではありませんが、保育園の園舎の老朽化や保育園の前の道の車が気になっており、道の側溝など通学路の安全性が気になりました。
J 委員	町立幼稚園の回収率が17.4%と低いことについては、アピール不足があったのではないかと感じています。 町立の小・中学校、幼稚園にしても、古いという印象があると思いますが、実際、斑鳩幼稚園は、築51年で、雨漏りすることがあります。 雨漏りのたびに教育委員会に連絡していますが、昔より対応はかなりスムーズになっています。しかし、老朽化が進むと原因を突き止めるのも難しく、水漏れの場所も特定しにくいです。幼稚園では、水を止めたままにできないので、帰る前に止水栓を閉めて、朝来たら開けるという作業をしています。 老朽化に関しては、新しい施設にしてほしいという意見が多いと思っていました。しかし、現状に満足している保護者も多いようで、現状が評価されているのかもしれませんが。 本委員会があるため、小学校や中学校、そして幼稚園の保護者の意見も取り入れて、より良い方向に進めていきたいと思います。幼稚園の人数は少ないですが、トイレに関する保護者の意見も多いので、今後も保護者の意見を勉強させてもらおうと思います。
K 委員	今の教育環境の満足度が高めなのかと感じました。職員の中では、建替えという声を耳にしていたため、保護者は補修しながら使用するという意見が多いことが興味深かったです。そうなった原因として、斑鳩町の地元への愛着が原因の1つではないかと考えます。自分が育った環境で子育てをしたいと考えている人がいるため、建て替えより補修を望まれているのではと思いました。

	保育園、幼稚園の年長の回答率が高いのは、翌年の小学校に上ることを意識されているのではと思います。
安井委員長	アンケートの設問については、反省点もあるかと思います。 現状のままでよいというニュアンスの取り方ですが、1学級の人数、1学年の学級数に満足されているという意味で受け取っています。建物に満足しているため、補修しながら使うということではないと感じています。 事務局の認識は、どうでしょうか。
事務局	安井委員長と同様です。
L 委員	保護者の方の回答率が少し低いように感じました。その原因が、アンケートの内容に興味がなかったのか、量が多くて諦めたのかは、分かりませんが、もう少し、アンケートに答えてほしかったという印象はあります。
C 委員	Is 値は調査されていますか。
事務局	学校の耐震改修を行う前に、調査しており、Is 値の数値は、基準を満足しております。
安井委員長	最後に、森下副委員長のご意見をいただければと思います。
森下副委員長	学校の規模に関して、4学級以上がよいという理由は、1学級あたりの人数を少なくしたいという思いによるものと考えます。アンケート全体になりますが、ソフト面とハード面の両方から考えるべきところでしたが、ハード面からのアプローチに寄りすぎたかなと思います。
安井委員長	1. 審議事項 (2) 一般会計の財政見通しについて、事務局より、説明をお願いします。

事務局	(資料 8－1 【当日配布】に基づき説明)
安井委員長	ありがとうございました。長寿命化は耐震工事だけではなく、学校環境を良くする施策ということで、かなり大きな改修を実施することにもなります。予算について見てしまうと意見が言いにくいかもしれませんが、ご意見やコメントなどはありませんでしょうか。
D 委員	長寿命化というのは、何年程度延ばせるものですか。
事務局	概ね 20 年から 30 年程度で、耐用年数を延命するものになります。
D 委員	長寿命化改修というのは、何回も繰り返してよいものですか。長期的に見た場合、コストパフォーマンスがよいということですか。
事務局	文部科学省の指針では、長寿命化は 80 年サイクルを考えられており、その中で 20 年毎に予防改修、40 年で長寿命化改修を実施し 80 年使用するという方針になります。そのため、おおよそ 80 年毎に建替えをするという考え方になります。 長寿命化をしながら、できるだけ長く使用の方が、長寿命化をせずに、建替えをするより、長期的な視点で見ますと、費用は安価に抑えられるという計算になります。
C 委員	建替えの場合は、全く同じ場所に建てることはできないため、新たな場所を探す、グラウンドに新しい校舎を建てる、その間のグラウンドは使用できないなどの様々な問題が出てくると思います。三郷町の場合は、奈良学園大学を借りて、そこまでバスを走らせるなど、色々と検討する内容があり、費用については、一概に言えないと思います。 一般財源から 1 億円で長寿命化ができて、建て替えに 2.7 億円でできると記載されていますが、これは、地方交付税措置が 90%あるということも考慮されていると思います。地方交付税の説明がない状態では、PTA として意見が出しにくいと考えられます。一般会計の

	財源の見通しについても、地方交付税が令和 7 年度以降は、減少する見込みで、この資料を作成していると思いますが、その理由など、かみ砕いた資料を頂かないと、発言しにくいと思います。
安井委員長	ただいま、地方交付税についてのご意見がありましたが、森下副委員長にお聞きしたいのですが、今後の地方交付税の見通しなど、ご意見をいただけますでしょうか。
森下副委員長	地方交付税の減少は、資料注にあるように特別な財源措置が見直されることによるものと考えられますが、国地方を通じて厳しい財政状況のなか、地方交付税が減少するという収支見通しは、少し考える必要があるかもしれません。また建て替えの経費については、単年度の一般会計負担だけでなく、将来の起債の償還負担が、収支見通しにどのように影響するかは考えないといけないと思います。
事務局	費用につきましては、昨今の材料費や人件費の高騰や付帯工事などで、概算費用から増額も想定されますが、長寿命化すれば 15 億円、建替えすれば 40 億円と、この数字だけが一人歩きしてはいけませんが、5 校を実際に建替えや長寿命化を行った場合に、一体どれくらいの費用がかかるのか、おおよそのイメージを持っていただくという意味で、本日、資料を配布させていただきました。
安井委員長	斑鳩町の将来の子どものことを考えますと、予算を考える必要はありますが、前提条件とせず、過度に予算で縛られないように議論を進めていければと考えます。結果として、財政部局と調整し、問題があれば、また次の委員会で検討する流れでよいと思います。 あくまで本委員会は、子どものより良い教育について考えるべきであり、そのためにアンケートを実施しています。どういう学校規模・適正配置にするべきかということを考えていきたいと思います。
山本教育長	最初に出ましたトイレの話について、長寿命化に関係しますが、現在、子どもたちが学校でトイレができない状況は避けるべきですので、長寿命化の工事とは別で考えるべきと思います。

	長寿命化や統廃合の議論につきましては、まずは、長寿命化を、学校の老朽化対策として行うのか、さらには、それに留まらず、長寿命化した後、20 年、30 年後も見据えて、計画的、総合的に統廃合の議論も排除することなく考える必要があります。 そういった検討を進めると、アンケートにあった「将来の児童・生徒数をふまえ、学校の統廃合も視野に検討」という回答に近づくと思います。 今回、皆さまのご意見は本当にありがたく思っており、教育委員会としてしっかりと考えていきたいと思っています。
森下副委員長	先走るわけにはいきませんが、本委員会でどこまで構想を詰めるべきか、考える必要があると思います。 予算も含め実施計画的なものについては、執行機関に委ね、議会で議論して頂くことになると思います。したがって、数値的な話とは別に、学校のあるべき姿を考えていく方がよいと思います。予算の話になると意見が出しづらくなるため、意識し過ぎない方がよいと思います。
安井委員長	本委員会は、斑鳩町がどういう教育を進めていくかということ、今回の検討委員会で、方向性を示していただく必要があると考えています。その方向性を聞かせていただき、学校規模・適正配置をどうしていくか議論する必要があると考えます。 10 年後には、テレワークのように学校に行かず教育を受けるということになるかもしれないという話も聞かれますが、子どもたちの将来の成長にマイナスになるような判断をしてはいけないと考えます。 机の大きさの話もありましたが、タブレットを置くために机を大きくした場合、通路が狭くなるなどの問題も出てくると思います。 ちなみに、事務局に聞きますが、現在の斑鳩町の机の規格は旧 JIS 規格ですか。
事務局	旧 JIS 規格になります。

安井委員長	B 委員は、三郷町での建て替えのご経験があることから、その時の状況などお教え頂ければと思います。
B 委員	子どもたちが実際に授業を受けている状態で、どうやって長寿命化の工事をするのか、夏休みの期間だけでできるものではないため、代替地を考える必要がありました。 三郷町では、工事期間中に使用を予定していた場所で水没の災害があり、議会で危険ではないかということで、奈良学園大学から一部借りることになりました。しかし、借りる予定であった特別教室や体育館が当初の話から変わるなど、計画段階で色々と想定していても、色々と問題が起きました。 その他、プレハブは2階建てから3階建てに急遽変更する、バスも2年間の経費がかかる話がありました。二転三転しすぎて、プールや体育館が使用できない、グラウンドがない、という状況にもなりかけました。
安井委員長	今後の委員会は、多角的により深く掘り下げて考えることが多くなり、予算や工事のこともありますが、適正規模・適正配置の原点に立ち戻って、進めていきたいと思います。 1. 審議事項 (3) 今後のスケジュールについて、事務局より、説明をお願いします。
事務局	今後のスケジュールについて大きな変更はありません。委員の皆様から、次回は、アンケート結果に基づき、適正規模・適正配置に係る今後の方向性について、ご意見を賜りたく思います。 また、最近の学校設備に関するトレンドのほか、昨年10月に神奈川県小田原市で研修しました木材を活用した事例、学校施設の地域防災の関わりについて併せてご報告させて頂きたいと思います。
安井委員長	ありがとうございます。スケジュールについてご意見は、ありますでしょうか。また、全般にわたりご意見は、ありますでしょうか。

	今回資料7、資料8を見る時間が短かったため、後日にでも、ご意見頂ければと思います。また、必要な資料があれば、事務局にて準備しますので、ご連絡頂ければと思います。
M 委員	アンケートは非常に参考になったと思います。施設の老朽化対策の進め方について、町民の方と教職員の方と意見が異なるため、擦り合わせが難しいと思いますが、県として、何かお手伝いできることがあれば、ご相談いただければと思います。
安井委員長	ありがとうございます。 事務局からは、何かありますでしょうか。
事務局	事務局から2点ご連絡になります。 1点は、本検討委員会の委員は、各学校の代表者やPTAの方々にお願いしているところになります。今後、新しく代わられた場合、委員の交代とされるか、継続されるか、各PTA、保護者会の方々に、ご検討いただきたいと思います。 事務局としましては、引き続き、委員としてお願いさせていただきたいところでございますが、代わられる場合は、引継ぎ等をお願いします。 もう1点は、お忙しいところ恐縮ですが、次回の委員会の開催について、3月の下旬を予定させて頂きたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。
安井委員長	それでは、これで第3回の検討委員会を閉会致します。 参加くださった皆様、ありがとうございました。

※会議資料添付

上記のとおり議事録を作成し、相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

議長等

署名人

署名人
